

水道事業会計決算

(1) 水道事業会計決算額

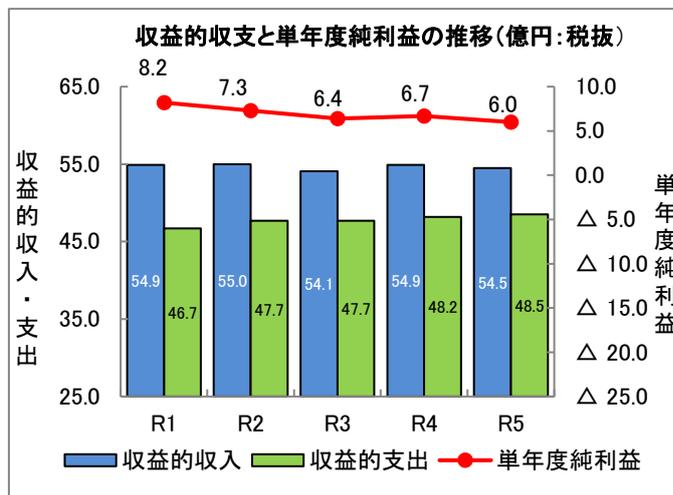
	収入決算額		支出決算額		差引額	(単位：億円)
収益的収支	54.5	－	48.5	=	6.0	【税抜】
資本的収支	14.3	－	27.1	=	△12.8	【税込】

(2) 収益的収支の状況

令和5年度の収益的収支の総収益は54.5億円で前年度に比べ0.4億円の減少となりました。これは、給水収益が増加したものの、雑収益が減少したことによるものです。

また、総費用は48.5億円で前年度に比べ0.3億円の増加となりました。これは、配水及び給水費が減少したものの、原水及び浄水費、減価償却費、事業活動全般の費用である総係費が増加したことによるものです。

この結果、当年度純利益6億円の黒字決算となりました。

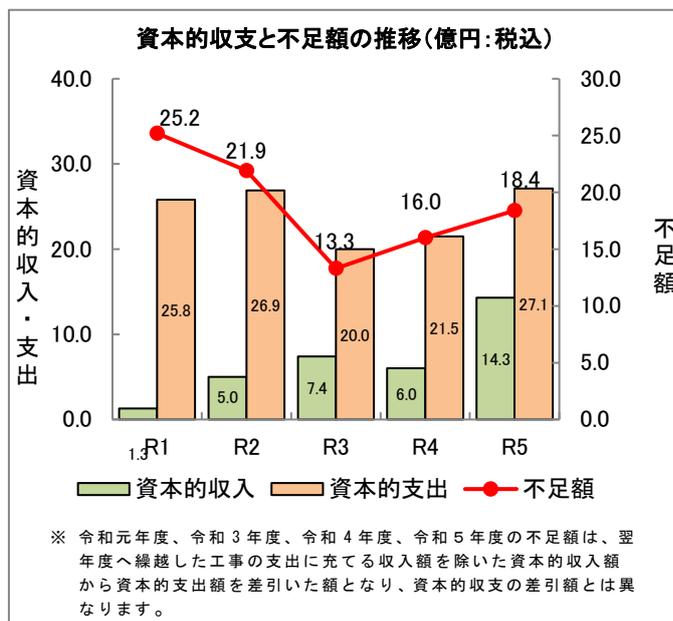


(3) 資本的収支の状況

令和5年度の資本的収支の収入は令和6年度へ繰り越される支出の財源に充当する額5.6億円を含め14.3億円で前年度に比べ8.3億円の増加となりました。これは、工事負担金が増加したことによるものです。

また、支出は27.1億円で5.6億円の増加となりました。これは、企業債償還金が増加したものの、拡張事業費、設備改良費、固定資産購入費、補助金等返還金が増加したことによるものです。

この結果、令和5年度の資本的収入から5.6億円を除いた額から資本的支出を差引いた資本的収支不足額18.4億円は、施設などを更新するために蓄えた損益勘定留保資金等で補てんしました。



(4) 企業債残高の状況

令和5年度は企業債4.5億円を借入れ、5.3億円を償還したことにより、企業債残高は34.2億円となりました。

償還額に対して借入額が少なかったことから、企業債残高は前年度より減少しています。

